

## 中国 交流の旅

今年、滋賀県と中国湖南省友好提携35周年ということで、これを記念し、滋賀県が主催する高校生の交流事業で守山中学・高等学校が選ばれ、中高生7名が中国湖南省長沙市にある長沙第21中学へ派遣され、交流をしてきました。

H30年7月25日（水）から28日（土）の3泊4日の日程で、長沙第21中学との交流は、26・27日の2日間で行われました。

7月26日（木）8:00すぎ 長沙第21中学の高校生9人が出迎えてくれました。中国では、7、8月と2ヶ月間夏休みですが、2日間の交流のために学校を開けていただき、校長先生を始め、数名の先生方も出迎えてくださいました。



横断幕や看板を作ってください、大歓迎で迎えていただきました。

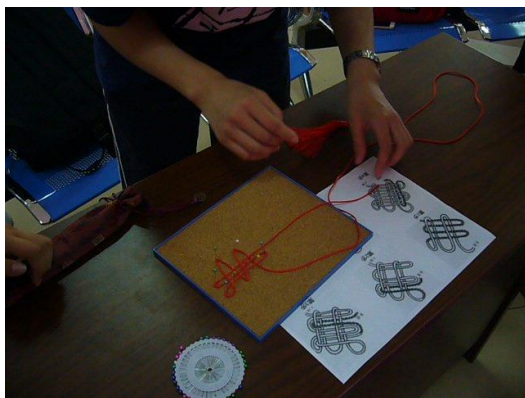


歓迎式では、第21中学の学生が中国語と英語で司会を務め、各校の代表者の挨拶、生徒同士の代表者の挨拶も行われました。

その後、多目的ホールで、文化体験をさせていただきました。



琴の鑑賞・体験、太極拳鑑賞・体験、扇子の絵の制作、中国結びの体験など、守山中高生1人に第21中学の生徒が1人ずつついてもらっていっしょに体験をしました。

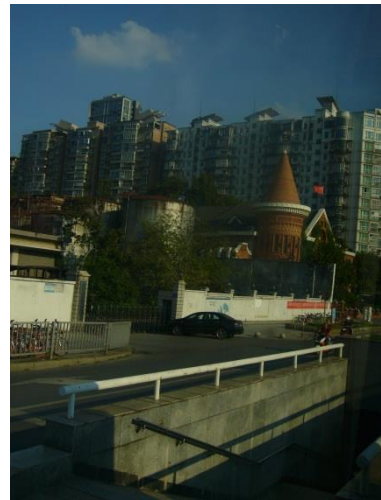


昼食は、学校近くの中国料理店で、長沙第21中学の先生方と生徒で歓迎してくださいました。湖南省の辛い料理は控えていただき、おいしい料理をいただき、互いの交流も深められました。

昼食後は、バスで移動し、長沙市内にある長沙生態動物園に行きました。日本のサファリパークのような大きな動物園で、動物園内をまわる専用のバスに乗って、ホワイトタイガーやパンダを見たり、鳥や象のショーを観ました。



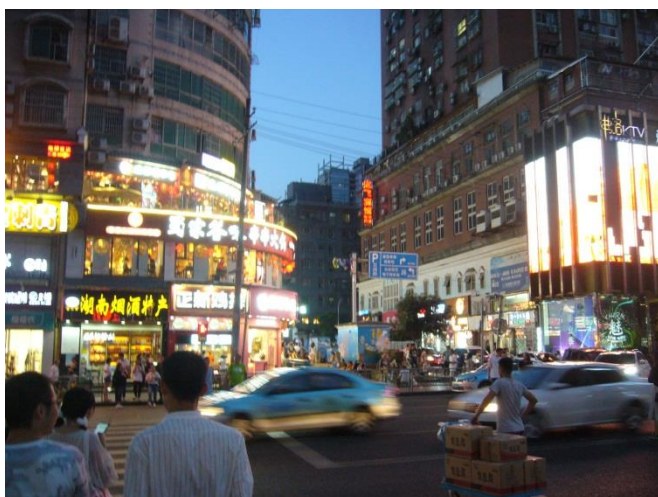
長沙市は毛沢東の出身地で、バスから川の中州に毛沢東の大きな顔の石像が建てられていました。また、長沙市の人口は約740万人で、バスで30分以上移動しても、ずっと道の両サイドに高層ビルが建ち並ぶ大都市でした。



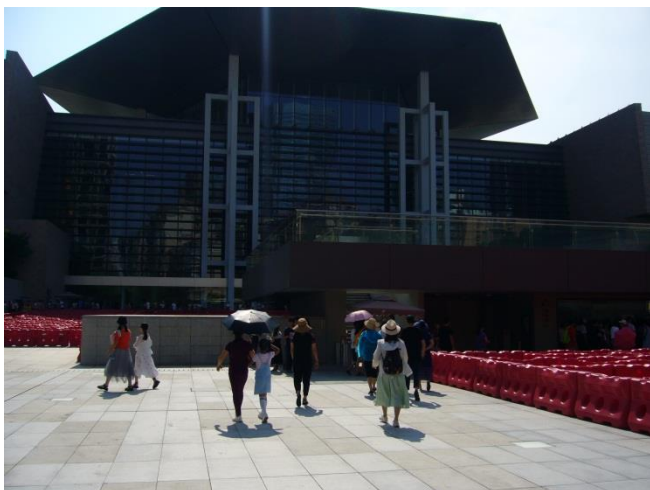
夕食は、毛沢東の像がある火宮殿というところで中国料理をごちそうになりました。



夕食後は、2人ずつのペアになり、太平街で1時間くらい買い物等を楽しみました。互いに英語で会話をしながら、第21中学の生徒がリードして案内してくれました。夜の町にはあふれるほどの人が、食べ歩きやショッピングを楽しんでいました。



7月27日（金）9：00ホテルからバスで移動し、第21中学の生徒と合流をし、9：30から湖南省博物館に行きました。馬王堆漢墓から発掘された2000年前の女性のミイラが展示されていました。大きな木棺に、何層にも箱にいれられ、たくさんの埋葬品とともに地中奥深くに埋葬されていたようですが、埋葬品は保存状態が非常に良かったようで、貴重な資料がたくさん展示されていました。



お昼は、ホームビジットで、3組に別れて、第21中学の生徒のおうちにおじゃまをし、家庭料理をごちそうになりました。まずは、いろいろな種類の果物をいただき、ちまきや餃子、月餅等、様々なごちそうをいただきました。

その後は、洋湖污水处理場に行きました。滋賀県と湖南省は友好提携だけではなく、琵琶湖環境保全の経験をもとに、環境協力もしています。施設見学と環境に関する説明を受けました。



夕食は、2日間のお礼という形で、日本料理店で、最後の生徒同士の交流を楽しみました。  
最後は、第21中学校前でお別れをしました。

2日間、かなり過密な日程でしたが、互いにたくさんの交流ができたと思います。

